

## 令和6年度町政懇談会議事録

- 1 日 時 令和6年10月10日(木) 10:00~10:43
- 2 場 所 全国町村会館 2階ホールB(東京都)
- 3 出席者 伊澤町長、平岩副町長、森副町長、舘下教育長、横山復興推進課長、朝田戸籍税務課長、中野農業振興課長、藤本建設課長、中里住民生活課長、相楽健康福祉課長、木幡教育総務課長兼生涯学習課長、高橋課長補佐、松原支援員(13人)

4 町民出席者 2人

### 5 町長あいさつ概要

今年度の町政懇談会は、双葉町の復興状況について、特定帰還居住区域復興再生計画と第2期帰還意向調査について、双葉町住宅再建支援事業について説明し、皆さまからのご質問やご意見に丁寧にお答えするとともに、その他のご意見、ご要望等についても意見交換させていただき、今後の町政運営にいかしてまいりたい。

### ○町内復興の取組について

#### 1) 駅西地区生活拠点等の整備について

町民の皆さまの帰還や就業者、移住者向けの生活環境を整備していた駅西住宅は、今年5月に全86戸が完成し、現在74戸に入居されている。昨年2月に開所した双葉町診療所では、週3日を基本に内科の診療を行っており、臨時の休診等については、町公式ホームページにおいて随時発信するので確認いただきたい。

#### 2) 駅東地区の整備について

駅東地区は商業を中心とした賑わいを形成するエリアとして整備を進めており、役場庁舎北側の隣接地に建設中の商業施設は、イオン東北株式会社の入居が決定し、令和7年度中のオープンを予定。スーパーマーケットがオープンすることで、町内における生活環境が大きく向上し、双葉町にお住まいの方、復興に携わっている方々の日常生活を支えるとともに、これから町内で居住を検討されている方々にとっても、重要な判断材料となることで、更なる帰還、移住定住を促進し、居住人口の増加に弾みがつくものと考えている。町体育館跡地に建設予定の商業施設(飲食店)の整備も進めており、入居する3軒の事業者も決定している。昼間から夜間の飲食まで、利用される方々が幅広く食を楽しめる施設となる予定。

#### 3) アクティビティエリアの整備について

双葉町復興まちづくり計画(第三次)において、中野産業団地と復興祈念公園、中間貯蔵施設に挟まれた約15ヘクタールの農地を中心とした土地を、アクティビティエリアとして整備する方針を打ち出し、事業化の検討を進めてきた。住民意向調査や復興町民委員会において、かつて海浜公園で整備されていたキャンプ場やバーベキュー場の再整備を求める意見が多く寄せられていることから、アウトドアゾーンをはじめ、運動交流広場など

の配置を検討。また、民間活力を積極的に活用し、初期費用の抑制を図りながら段階的に整備を進めてまいりたいと考えている。

#### 4) 次に特定復興再生拠点区域内の営農再開への取組について

除染後の農地保全管理については、本年度で終了。来年度からの営農再開を目標としているが、既に町内では営農再開に取り組んでいる個人の農業者の方や農業法人によって、今年は約4ヘクタールの農地でブロッコリーなどの栽培が始まっている。

また、農地の基盤整備やほ場整備事業の実施に向け、各地域における調整が進んでいると聞いており、地元のご意向を踏まえ、本格的な営農再開に向けて、担い手の確保とともに一体的に取り組んでいく。

#### 5) 町内の防災対策について

昨年度から防災行政無線の運用を開始し、屋外スピーカーだけでなく、災害時の緊急情報や防災情報を確実に伝えるため、町内に居住されている方、事業者等に対し戸別受信機の貸し出しを行っている。本年7月には、双葉町消防団第二分団に消防ポンプ自動車を配備。旧車両と比べ資機材を豊富に積載できるようシャッタータイプにするとともに、900リットルの水を積載しており火災現場で消火栓に接続することなく、速やかな消火活動を開始することが出来るようになった。引き続き、第一分団にも配備を進めるとともに、今年度中に町内2ヶ所に備蓄倉庫を配置していく。

#### 6) 町内の学校再開について

基本構想では、「英語教育と国際理解教育を基盤とするグローバルな人材育成」を“目指す学び”のひとつとして位置付けている。双葉町学校設置検討委員会では、先進地視察を行うなど、学校施設の構成や配置計画について議論が交わされており、町内での学校再開に向けて、検討を進めていく。

## 6 説明

- |                        |            |
|------------------------|------------|
| (1) 双葉町の復興状況について       | (横山復興推進課長) |
| (2) 特定帰還居住区域復興再生計画について | (中里住民生活課長) |
| (3) 第2期帰還意向調査について      | (中里住民生活課長) |
| (4) 双葉町住宅再建支援事業について    | (中里住民生活課長) |

## 7 懇談概要

(羽鳥 男性)

双葉町に度々帰還して、ホテル等を利用して家の周りの手入れ・草刈りなど、色々やってきたが、宿泊する期間が長く、費用的にも結構かかっている状態である。このたび、「FUTABA-BASE」というトレーラーハウスで宿泊できるということを小耳にはさんだので、それを利用した。家を建てるまでの決断には至っていないので、自分の屋敷周りに寝泊まりできて、大変良かった、双葉に帰ってきたという感があった。そのような宿泊に要した費用に関して、ホテル宿泊費なども町の方から助成等できるのか、お聞かせ願いたい。

(伊澤町長)

ただ今のご指摘については、町政懇談会の中で、別の会場でも何回かお話があった。戻って来られる人のほとんどが自宅を解体しているので、宿泊に関しては、まさに実費でお支払いになるので大変負担が大きいのではないかとということで、何とかしなくてはという考えでいる。

いただいたご指摘については、今後検討させていただき、どのぐらいの費用を年間何日分まで町で補助するかなど、なるべく実施できるように検討していきたい。

(三字 男性)

目迫地区も地区内で分断された所の除染が始まり、上道と下道があるが、上道の方はほとんど家屋を解体した。下道の方は全然手付かずの状態である。

水田は、除染を申請しない方がおり、私の水田の周辺には4、5件ほど申請していない方がいて、除染が済んだ所と未除染の所がすごく虫食い状態になっている。そのような状態があることについて、町としてどう考えているのか。

また、先ほど町長が言われたとおり農地の保全管理事業を実施いただいたが、今後は補助がなくなるということで、地区の集会で話をしたところ、「補助がなくなると自分では維持管理できないので何とかしてもらえないか」という趣旨の意見が出てきたところである。このことについても、町の考えをお聞かせ願いたい。

(伊澤町長)

除染の話ですが、これは先ほど住民生活課長の方から話があった。また、今年度中に帰還意向調査を実施する。そうした中で、いま除染が終わって戻れる環境になったとしても、すぐに戻ってきてくださいということではない。戻る意思があれば、除染をしてほしいという声を上げることが可能であるので、そのような(虫食い状態の)所は、是非お声掛けいただくと、今後除染や解体も含め可能である。

さらには農地の保全管理、これは一応ルールと言いか、どこも同じような対応をしている。保全管理(事業の実施)からある程度年数が経っていれば、その農地を所有する個人の判断ということになる。

(中野農業振興課長)

現在、三字地区では、担い手として農業法人を入れて基盤整備をしたいということで、行政区内でお話をされているかと思う。現在意向調査をされていて、それを取りまとめているということを知っている。その件で、保全管理事業が今年度で終わるとということと重なって、令和7年度から農業法人の方で管理耕作ということで進めているが、それがどの位、担い手の方に管理耕作としてやっていけるのか、今後行政区の方でのお話しになる。保全管理、除染後農地の維持管理から、営農再開に向けての管理耕作に引き継いでいくということは、我々も望ましい形であると思っているので、行政区の方で取りまとめ地権者さんが、その農業法人の方に貸しても良いという意向が進めば、保全管理に進まなくても管理耕作と言う形で農地の方は営農に移行できると思う。そのような形で、大字の方で取りまとめていただければ、営農再開はどんどん進むものと思っている。

引き続き行政区の方で、将来、農業をどうしていくのかということも含めてご検討いただき、それに伴って町としても基盤整備などの支援をさせていただければと思っている。

(三字 男性)

今度学校が新しくなると承知している。それに伴って目迫地区で何かできないかということで、ゴルフ場やパークゴルフ場、運動公園を造ったら良いのではないかという話も出てきた。ゴルフ場もパークゴルフ場も、管理はゴルフ場などの人がやるので、地区内の美化にも繋がるし、そう

なるのであれば、農地でも何でも貸そうという意見もあった。

現在、私は千葉に避難しているが、そちらの行政機関の手配で成田空港内の施設を見せていただけの機会があった。成田空港のコントロールタワーの下には、センターポールという50メートルのポールがあり、普段は立ち入ることはできない場所であるが特別に入れてもらった。3千5百メートルの滑走路をもう一本つくるなど、空港の敷地面積が現在の倍になるそうで、2029年度開港を目指しているとのことである。

空港の拡張予定敷地内には、「多古米」という皇室献上米を作っている水田もあり、その水田を含む一帯の土地を買収し、そこにターミナルを集中させる計画とのことである。

そのようなことができるのであれば、町内もホテルができて人も集まるので、ゴルフ場などを整備するのがよいのではないかという話になり、今度、地区の懇談会があった際、町長に提案してみようかという人もいた。そうしたゴルフ場などの整備についても念頭に置いていただければと思う。

(伊澤町長)

ゴルフ場やパークゴルフ場など、色々なレジャー施設の整備に協力するので、目埒地区の農地の後にどうでしょうかというご指摘だと思う。

実は、これはまだ決定はしていませんが、双葉中学校の下の深谷地区、こちらは軟弱地盤で、皆さんご存知だと思うが工作物を建てるような場所ではないので、そこを公園化したらどうか、両側の山の丘陵地帯につきましても、イメージとしては福島市にあります花見山公園のような景観をつくり、さらには、空いた土地には先ほど言われたパークゴルフ場、そういうものも実は今検討中である。まだ決定ではないが、そういう考えでやっているの、御了承いただきたい。

閉会 10時43分